

自由民主党市議団
江上 しほり 議員

市営住宅の空室、なぜ埋まらない

問 令和７年度末の入居状況と空室の要因、今後の入居促進に向けた取組は。

答 令和７年度末の入居戸数は1,815戸、募集可能な空室は445戸。入居戸数は令和７年４月１日から57戸減少した。古く交通が不便で、エレベーターのない住宅は空室率が高い傾向にある。高齢単身者の需要はあるが、家族向け住戸は単身者には広く、家賃負担も大きく応募が少ない。給湯設備・浴槽の設置、外壁や室内の改修、情報発信の強化、学生入居の促進に取り組む。

再発言 団地・住戸ごとの原因分析と、既存の間取りを生かす学生や若者のルームシェアの検討、手続の簡略化と情報提供の充実を求める。

与論町との絆を次世代へ

問 市制施行110周年を機に、与論町との姉妹都市・友好都市提携について市長の考えは。

答 現在、提携協議の予定はないが、歴史的・人的つながりを大切にし、若い世代へ交流を引き継ぎたい。

再発言 大牟田市の市制施行110周年を機に、歴史を市民に伝える記念事業や展示、記録の収集・発信、学校・民間交流への一層の後押しを求める。



民主・護憲クラブ
古庄 和秀 議員

新たな「健康福祉総合計画」について

問 障害福祉サービス利用者が65歳になると介護保険サービスが優先となる65歳問題については、当事者が個別に相談に行く必要のない仕組みづくりが必要ではないか。

答 障害のある方が65歳になり、利用していた必要な支援が後退することは、社会モデルの観点からも、あってはならない。65歳到達前から、相談対応や関係機関との連携強化など、不安なく節目を迎えられるよう対応したい。

まちなかの再生・活性化について

問 ＪＲ貨物線路跡地での社会実験より、ＣＩ事業※の維持補修などを優先すべきでは。

答 ＪＲ貨物線路跡地利活用事業では、敷地内にコンテナハウスを設置し、ＵＤＣおおむた※の事務所や交流スペースとし、常駐スタッフがまちなかの活性化に取り組む予定。老朽化が進むアーケードやカラー舗装の維持補修、空き店舗解消等の取組も強化したい。

再発言 スタッフの常駐予定は初めて聞いた。正確な情報でないと審議できないので、情報の共有化を要望する。

※ＣＩ事業：昭和～平成にかけ新栄町商店街などで実施した、アーケード整備やカラー舗装などのハード事業及びソフト事業。
※ＵＤＣおおむた：まちなかの魅力創出及び活力の維持向上を目的とする公・民・学連携の組織。



公明党議員団
平山 伸二 議員

地球温暖化問題

問 地球温暖化問題に関する市長の見解を聞きたい。

答 本市は2050年の二酸化炭素排出量ゼロの実現を目指しており、市が率先して脱炭素社会の実現に向けた取組を行うとともに、市民、事業者など地域のあらゆる主体が取組を進め連携することが重要と考える。今後も皆様と持続可能なまちづくりとゼロカーボンシティおおむたの実現に向けて取り組んでいく。

中学生と市長の意見交換会

問 市長は市内の中学生と意見交換会をされたが、その時の思いや感想を聞きたい。

答 貴重な意見をいただいた。自分の考えを持ち、意見を交わし発表する姿を見て心強く感じた。今後も取組を継続し、まちづくりに生かしたい。

市民の健康維持対策

問 高齢者の骨折や誤嚥性肺炎予防の取組状況を聞きたい。

答 健診の受診、フレイル予防、生活習慣病の重症化予防などの周知啓発や、予防が必要な対象者に「よかトレ教室」等への参加を促すほか口腔機能低下予防の「歯にかみ教室」等を行い、啓発に努めている。